

山梨日日新聞

2025 (令和7) 年
2月26日水曜日

10代の意見

に掲載されました

互いを思いやる
本当の友達関係

◇友達との帰り道。私たちはいつも面白い話や最近あった出来事などを話しながら帰っている。話している途中、友達が急に私を変な呼び方にして「ばあさんや、今日はいい天気じゃなあ」とか言う。だから私も「ああ、そうじゃあ、じいさん」と合わせるように言う。こうしてお互いに合わせながら話すと、会話もはずむし、何より楽しい。一日の楽しみの一つでもあった。

◇だが、ある日、友達が泣いているのを見た。友達は、書道のコンクールで思った成績をとることができなかったみたいだ。帰り道でも、友達はずっと下を向いて何も話してこなかった。何か話さなければ。けれど、何も言葉が出

てこない。気まずい空気が流れたまま、道が分かれてしまった。家に帰った後で考えた。私には何かできたのではないか。はつきりとした気持ちには分からなくても、悲しいね、悔しいね、と一緒にあってあげることはできたかもしれない。私も、つらい時に何か声をかけてくれると、気にかけてもらえている、とうれしくなるだろう。

◇友達が笑っていたら一緒に笑い、悲しんでいたら一緒に悲しむ。そうやってお互いを気遣いながら生活していくことで相手も自分も安心していられる。このような関係が本当の友達である。気持ちを分かってくれたり、話を合わせたりにしてくれる友達を大切にし、自分自身も相手を思いやれる、そんな関係をつくっていききたい。

